

集落協定の取組活動事例

(別紙)

○集落ぐるみで効率的な環境整備

みやうら

宮浦 集落協定(岡山市)

協定面積：4.0ha 交付金額：66万円

構成員の高齢化により共同活動が困難になったことから、平成29年から集落内の住民にも広く協力を依頼し、構成員に追加した。このことにより、協定の取組体制が強化され、ため池堤体法面などの草刈りや水路の補修及び鳥獣害対策等を効果的に行っている。また、中山間地域等直接支払交付金を積立てて大型草刈り機を導入したことにより広範囲の草刈り作業の負担を軽減することができるようになった。

【主な取組実績】

- 水路農道などの維持管理
- 鳥獣害対策としての防護柵・ネットの設置・管理



ため池堤体法面の草刈り



重機を使用した水路補修



大型草刈り機による草刈り

○広域化による活動体制の強化

さんがいち・しもわただ

三ヶ市・下和忠集落協定(新見市)

協定面積：6.8ha 交付金額：94万円

活動体制の維持、強化を目的に2協定を合併し、2集落合同で活動を行っている。

将来にわたって地域農地を維持するため、2名の認定農業者が中心となり、また、地域の若手農業者も新たに協定へ加わり、水路・農道の管理、法面の点検・草刈り、鳥獣対策用電柵の設置を行っている。

また、協定農用地全域での計3回の病虫害防除作業を共同で行うなど、農業生産活動の共同化も進めている。

【主な取組実績】

- 集落農地の共同防除作業 6.8ha
- 鳥獣害対策のための電柵設置
- 水路掃除・周辺林地の草刈り



周辺林地の下草刈り



水路掃除



共同防除作業



鳥獣対策の電柵設置

○農業機械の共同利用による効率的な農業生産活動

こうじろ

神代集落協定(津山市)

協定面積：35ha 交付金額：714万円

神代地区では、農業者の減少、高齢化に対応するため、令和元年度の地域営農体制緊急支援試行加算(スマート農業推進型)により、防除用のドローンを導入し、集落内の共同防除を行った。

また、ドローンの導入に当たり、ドローンパイロットスクールを事前に受講させる等人材育成にも熱心に取り組んでいる。

【主な取組実績】

- ドローン活用による共同防除面積の拡大 10ha→21ha
- 1ha当たりの防除作業延べ時間の短縮 360分→30分
- ドローンオペレーターの育成 3名



従来の防除



ドローン防除



ドローンでの防除